



…ドクター内田のひとりごと…

思いつくまま 61  
気のむくまま

節目

新年度あけたかと思ったら、もう1カ月が経ちました。新たな状況に置かれた方々、少しはその環境になじめたでしょうか？

さて、人生にはいくつもの節目があります。この春がまさにその節目ですという方も多いことでしょう。今回はその「節目」について考えてみます。

節目にはお宮参りや七五三、入学、就職といった多くの方が通る道もあれば、結婚、出産というおめでたい場合、還暦や喜寿、米寿などの年月の経過によるものもあります。一方で病気、別れ(死別)などつらい出来事のこともあるでしょう。その節目の節の大きさは小さなものから大きなものまで様々で、時には経験したことの無いほどの大きな節の場合だってあります。時間の経過とともに節目の見方が変わることもあるかもしれません。

ある記事で仮面女子というアイドルグループのメンバーの猪狩ともかさんという方を知りました。彼女は不幸にも強風にあおられた看板の下敷きとなり、脊髄損傷という大きなけがに見舞われます。それ以降彼女は自力で立つことはできなくなりますが、懸命のリハビリにてなんと4カ月後に車いすでアイドル復帰を果たします。受傷後はしばらくその状況を受け入れることはできなかったとのことですが、周囲の方から多くの励ましを受け、「私は生きています。このことだけは何にも代えることのできない神様からのプレゼントだと思っています。その分試練も与えられたけど、きっと越えられない試練は与えないはず」「これからどんなことがあっても、向日葵のように上を向いて楽しくて幸せな人生を歩んでいく。そして毎日を丁寧に大切に生きていきたい」(本人のブログより)と述べていました。車いすでアイドルに復帰することで多くの人に希望を与えた彼女の努力は一言では語りつくせません。脊髄損傷という私たち

の日常からは考えられない大きな節目、それをプラスの見方でとらえた彼女の生き方に感銘を受けます。

そんな折、家の壁に掲げてあったカレンダーの言葉が目にとまりました。

してもらう幸せ

できるようになる幸せ

してあげる幸せ

(鍵山秀三郎:イエローハット創業者)

子どもが何かしてもらったときの笑顔、さらに自分でできるようになった喜びを体全体で表している姿は本当にほほえましいものです。また、誰かのためにしてあげることを喜びと感じている人も多くみられます。素晴らしい生き方です。アイドルとして多くの人を幸せにしてきた猪狩さん、何もできなくなった状態から少しずつできる幸せを取り戻し、気づいてみれば今まで以上に幸せを振りまいている気がします。

歳とともに身の回りのことができなくなっていく人もおられるでしょう。でもきっと今までいろんな人のお世話をしているはず。できなくなっても悲観せずしてもらう幸せを感じながら過ごせるといいですね。人は成長とともに幸せの向きが自分から他者へ移り変わっていく。そんな変化の中に、人生の節目がある気がします。

新年度が始まって1カ月。今月は皆様にとって、どんな節目があるのでしょうか。くれぐれもお体には気を付けてお過ごしください。

院長 内田 望

外来からのお知らせ

最新の休診情報は、町立病院のホームページ「診療日カレンダー」でお知らせしています。

※休日急患当番医は広報おがの22ページをご覧ください。

休診

- 5月3日(祝)～5日(祝) 休診日
- 5月6日(金) 総合診療科 植木Dr.
- 5月19日(木) 耳鼻咽喉科 水足Dr.
- 5月26日(木) 耳鼻咽喉科 水足Dr.
- 総合診療科 担当医(午後)
- 5月27日(金) 総合診療科 山下Dr.

発熱外来

発熱や咳など呼吸器症状等のある人は、午後2時から4時までの間、発熱外来で対応します。必ず、事前にお電話(☎75-2332)いただき受診方法をご確認ください。

〈お子さんをお持ちの人へ〉

小児については、小児科医による診察が望ましく、かかりつけ小児医療機関や埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター ☎0570-783-770(24時間対応)に電話などでご相談ください。

新任医師紹介

小島巧実先生からのメッセージ

はじめまして。今年度から小鹿野中央病院に赴任しました小島巧実と申します。さいたま市大宮区で育ち自治医科大学を卒業、さいたま赤十字病院で初期研修を修了した後、秩父市立病院で2年間勤務いたしました。秩父郡市での生活は3年目となります。

余暇にはロードバイクをこいでおり、この2年間は千束峠、志賀坂峠、土坂峠、両神峠と小鹿野町の山々に心身ともに鍛えていただきました。花菖蒲、節分草、ダリアといった花々やホテルの見物などでも度々うかがっており、きっと皆さまとお会いしたこともあるかもしれません。これからよりたくさん小鹿野の魅力を教えていただければ幸いです。

保健・福祉といった行政との連携が全国的にも有名な小鹿野町の医療に携わることで、より包括的に皆様の生活を支えられる医療者となるべく学ばせていただきます。日々精進し皆様のお役に立てるよう励みますので、ぜひご指導ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。



栃村亮太先生からのメッセージ

はじめまして。今年度から小鹿野中央病院の総合診療科に勤務させていただき、栃村亮太と申します。恐縮ながらも、この場をお借りして小鹿野町の皆さんにご挨拶をさせていただければと思います。

私は高校生の頃、地域医療や在宅医療専門の医師を志し、院長の内田先生や山下先生と同じ自治医科大学に入学しました。その学生時代に何度かこちらの小鹿野町で研修をさせていただいた際、自然豊かな土地柄や皆様の人柄にひかれ、卒業後は小鹿野中央病院で勤務させていただきたいと思っておりました。今年度、それがまさに現実となり、大変嬉しく思います。

まずは、このコロナ禍で皆様に可能な限り健康な生活を送っていただけますよう尽力させていただきます。また、日常生活でのちょっとした体調不良をはじめ、通院や入院が必要な病気まで幅広く対応させていただきますので、ぜひ、お気軽にご相談いただけますと幸いです。勤務当初はご面倒をおかけすることもあるかもしれませんが、精一杯努力いたしますので、これからよろしくお願いいたします。



発熱したとき、どうしよう？

①かかりつけ医がいる人

かかりつけ医に電話で相談

※医師の判断により別の医療機関を紹介される場合もあります。

②かかりつけ医がいない人

お近くの医療機関又は埼玉県ホームページに掲載されている「埼玉県指定診療・検査医療機関」検索システムで、近隣の医療機関を探して電話で相談



※「埼玉県指定診療・検査医療機関」とは、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療・検査を行うことができる医療機関です。埼玉県が医療機関を指定しホームページで公表しています。ホームページが見られない人は【埼玉県受診・相談センター】☎048-762-8026 FAX048-816-5801へご連絡ください。

問合せ●秩父郡市医師会☎22-0570

秩父保健所☎22-3824

保健福祉センター・保健課☎75-0135